

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 10 日

仕事の内容	職員健康診断			
担当部署・課長名	職員	課	研修厚生	係 課長名 矢吹勇一

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施策番号	行 - 2	-
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現	総合計画書 (ページ)	122	

予算名	款 2 総務費	項 1 総務管理費	目 1 一般管理費	事業 5 福利厚生事業
-----	---------	-----------	-----------	-------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 正規職員・再任用職員の希望者(平成30年7月1日現在)	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 正規職員・再任用職員の希望者数
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 正規職員の健康状態が把握され、職員の健康が保たれている。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 実際に定期健康診断を受診した職員数(人間ドック受診後に検査項目を提出した職員を含む) / 正規職員数・再任用職員数
	③ そのために何をしましたか。 労働安全衛生法第66条及び東大和市職員労働安全管理規則第12条に基づく事業であり、労働安全衛生規則第44条により、1年以内ごとに1回、医師による定期健康診断を実施した。 また、任意で胃検診、VDT検診、大腸がん検診、腰椎検査(3年に1度実施。平成30年度実施)を実施した。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) ①定期健康診断を受診した職員数(人間ドック受診後に検査項目を提出した職員を含む)。 ②胃検診、③VDT検診、④大腸がん検診を受診した職員数

		単位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標	
2 指標の推移	対象指標	①の数値	人	508	505	498		
	成果指標	②の数値	%	95	97	93		
	目 標	②の目標値				100	100	100
		目標値設定の考え方	当該年度に受診を希望している正規職員・再任用職員、全員の受診を目指す。					
活動指標	③の数値	人	①485 ②29 ③28 ④404	①488 ②18 ③27 ④392	①464 ②17 ③25 ④381			

3 経費	事業費(実績)	円	2,374,173	2,176,383	2,137,902	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外)年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)	
	財源	一般財源	円	2,374,173	2,176,383		2,137,902
		特定財源	円				
		(うち受益者負担)	円				
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.2	0.2		0.2
		所要人数(再任用)	人				
職員人件費(再任用以外)		円	1,653,400	1,650,600	1,648,800		
職員人件費(再任用)	円						
事業費+人件費	円	4,027,573	3,826,983	3,786,702			

この仕事における市の裁量 市の裁量はない

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 労働安全衛生法第66条に基づき、事業者の責務として定期健康診断を実施している。 さらに胃検診は昭和56年度から、VDT検診は平成2年度から、大腸がん検診は平成5年度から実施している。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 定期健康診断の検査項目については、労働安全衛生規則第44条に規定されているが、平成20年4月からの特定健康診査・特定保健指導の実施を背景とした法改正に伴い、検査項目が追加・改定された。また、対象となる職員に、再任用職員が加わった。胃検診については、平成2年度から、要精密検査になった職員の精密検査費を事業者が負担している。

仕 事 の 内 容	職員健康診断			
担当部署・課長名	職員	課	研修厚生	係 課長名 矢吹勇一

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について 特になし		
	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）		
6 市民協働	取り組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点		
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 込む時間帯と空いている時間帯がある。		
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。		
	(3)(2)を踏まえた今後の課題		
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 胃検診、VDT検診及び大腸がん検診は、法定で定められた検査ではないが、病気の早期発見等職員の健康維持に資するものであり、事業主の職員の安全配慮事務の観点から、引き続き実施していく。		
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等		
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。		
成果	成果を維持する。		経費 仕事の経費は維持する。